



令和 3 年の東京税関における知的財産侵害物品の差止状況 ～ 電気製品の差止めが 2 年連続で最多 ～

1. 差止点数が 19 万点超え

- ・ 輸入差止点数は 191,749 点（前年比 0.7%増）と昨年に続き 19 万点を超え、輸入差止件数は 4,212 件（前年比 16.3%減）となりました。

2. 電気製品の差止点数が 2 年連続で最多

- ・ イヤホンなどの電気製品の差止点数は 33,357 点（構成比 17.4%、前年比 8.5%増）で 2 年連続最多となり、差止件数も 120 件（構成比 2.2%、前年比 62.2%増）と増加しています。

3. 中国来の差止めが依然として高い水準

- ・ 中国来の差止点数は 118,340 点（構成比 61.7%、前年比 7.2%増）、差止件数は 2,537 件（構成比 60.2%、前年比 40.2%減）、となり、点数・件数ともに平成 19 年（2007 年）以降、最大の仕出国となっています。

4. 商標権侵害物品の割合が引き続き高い水準

- ・ 商標権侵害物品の差止点数は 149,892 点（構成比 78.2%、前年比 13.2%増）、差止件数は 4,031 件（構成比 94.5%、前年比 16.8%減）となり、点数・件数ともに引き続き大きな割合を占めています。

5. 健康や安全を脅かす危険性のある知的財産侵害物品が引き続き散見

- ・ 健康や安全を脅かす危険性のある自動車部品、トレーニング機器等の差止めが散見されました。

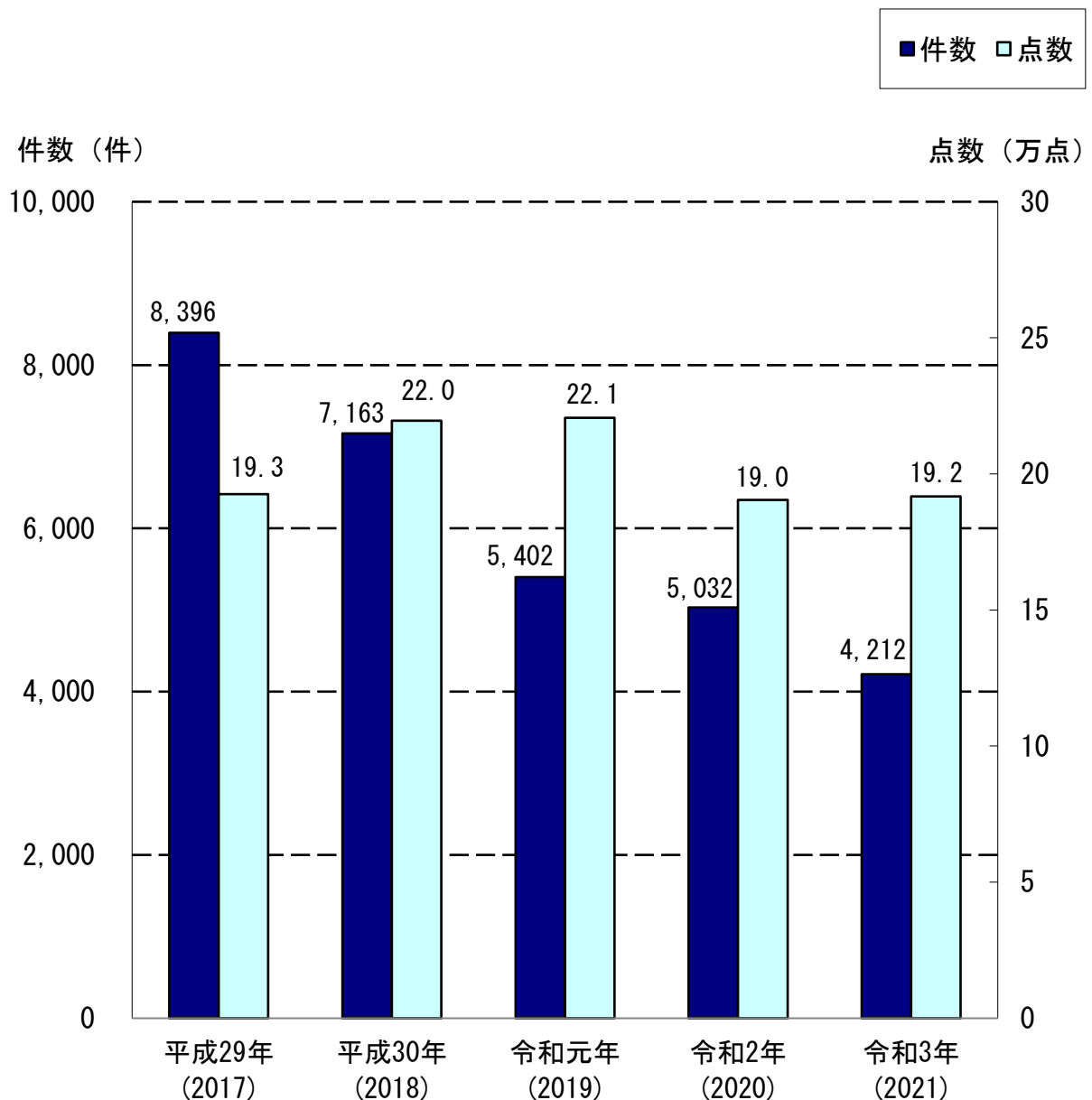
【お問い合わせ先】

東京税関 税関広報広聴室
TEL 03-3599-6264
FAX 03-3599-6442

令和3年における知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

「差止件数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の輸入申告及び郵便物の数です。
「差止点数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の数です。
例えば、1つの輸入申告において、20点の知的財産侵害物品が含まれていた場合は、1件20点として計上しています。

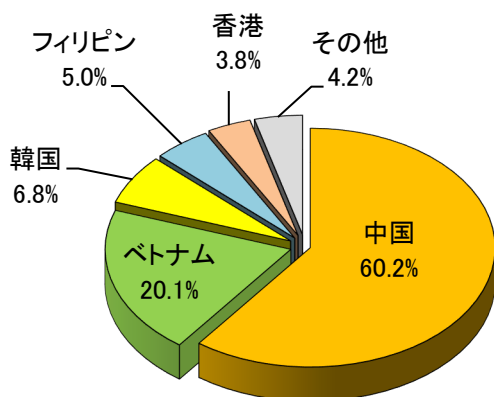
知的財産侵害物品の輸入差止実績 平成29年～令和3年（2017年～2021年）



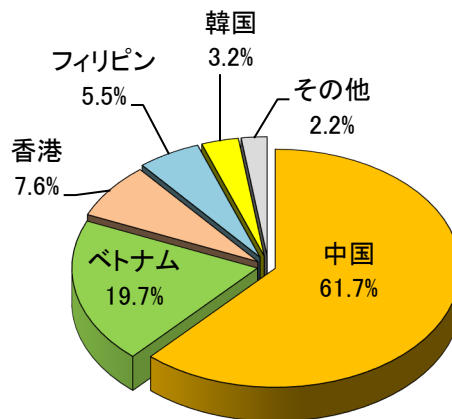
○仕出国（地域）別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、中国来が 2,537 件（構成比 60.2%、前年比 40.2%減）、次いでベトナム来が 845 件（構成比 20.1%、前年比 545.0%増）、韓国来が 285 件（構成比 6.8%、前年比 50.0%増）となりました。
- 輸入差止点数は、中国来が 118,340 点（構成比 61.7%、前年比 7.2%増）、次いでベトナム来が 37,853 点（構成比 19.7%、前年比 489.8%増）、香港来が 14,540 点（構成比 7.6%、前年比 61.6%減、）となりました。

仕出国(地域)別差止実績
構成比(件数ベース)



仕出国(地域)別差止実績
構成比(点数ベース)

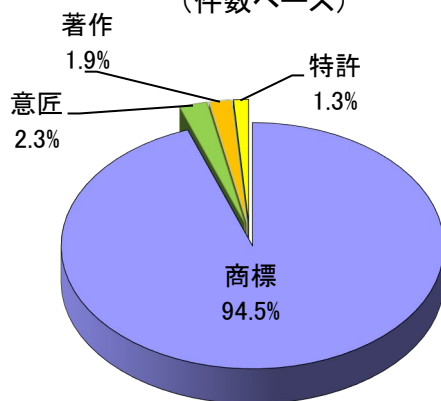


(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

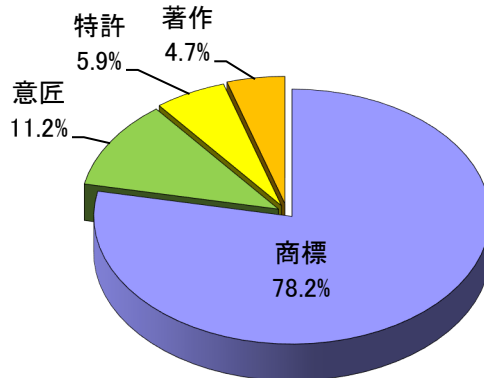
○知的財産別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、偽ブランドバッグ等の商標権侵害物品が 4,031 件（構成比 94.5%、前年比 16.8%減）で大半を占めています。次いでデザインを模倣した意匠権侵害物品が 100 件（構成比 2.3%、前年比 49.3%増）、キャラクターグッズ等の著作権侵害物品が 81 件（構成比 1.9%、前年比 34.7%減）、となりました。
- 輸入差止点数は、商標権侵害物品が 149,892 点（構成比 78.2%、前年比 13.2%増）、次いで意匠権侵害物品が 21,545 点（構成比 11.2%、前年比 30.5%減）、特許権侵害物品が 11,244 点（構成比 5.9%、前年比 42.9%減）、となりました。

知的財産別差止実績構成比
(件数ベース)



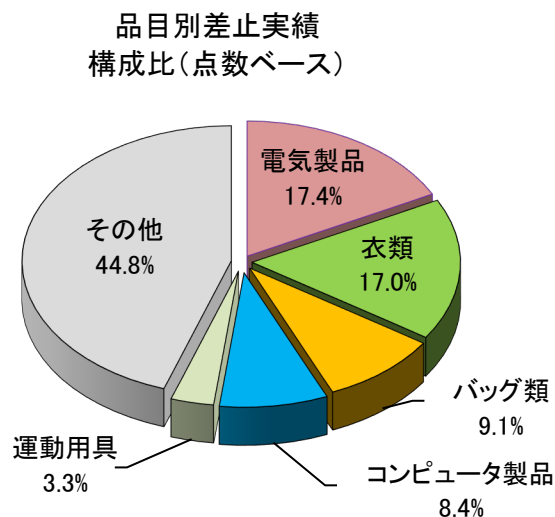
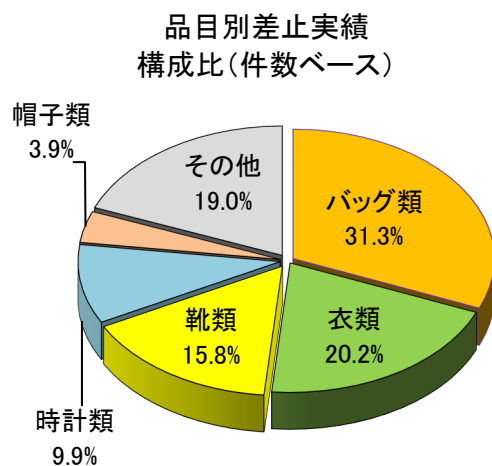
知的財産別差止実績構成比
(点数ベース)



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

○品目別輸入差止実績

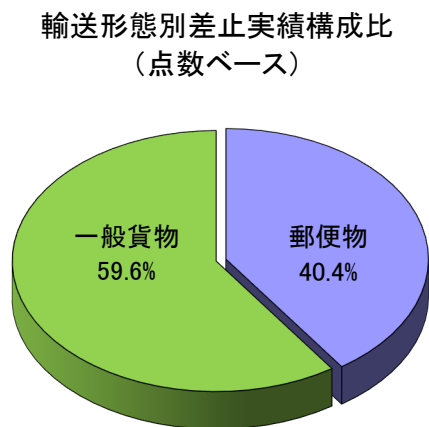
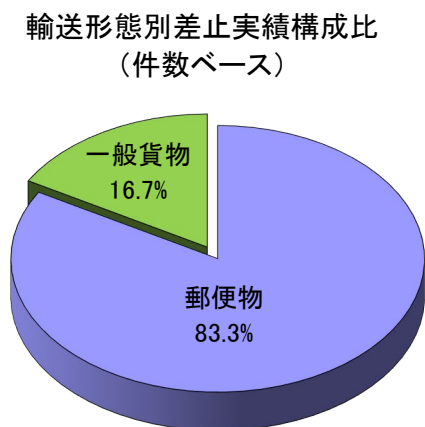
- 輸入差止件数は、バッグ類が 1,675 件（構成比 31.3%、前年比 3.3%減）、衣類が 1,083 件（構成比 20.2%、前年比 38.7%減）、靴類が 847 件（構成比 15.8%、前年比 132.7%増）となりました。
- 輸入差止点数は、電気製品が 33,357 点（構成比 17.4%、前年比 8.5%増）、衣類が 32,553 点（構成比 17.0%、前年比 106.2%増）、バッグ類が 17,527 点（構成比 9.1%、前年比 41.4%増）となりました。



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

○輸送形態別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、郵便物が 3,509 件（構成比 83.3%、前年比 17.8%減）、一般貨物が 703 件（構成比 16.7%、前年比 7.9%減）となっており、郵便物が大半を占めています。
- 輸入差止点数は、郵便物が 77,468 点（構成比 40.4%、前年比 89.4%増）、一般貨物が 114,281 点（構成比 59.6%、前年比 23.6%減）となっており、点数は一般貨物の割合が多くなっています。



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

<トピック> 模倣品に対する権利者の対応

ブランドロゴなど商標が付されていない模倣品に対して、権利者は文字商標以外の商標や他の知的財産権の差止申立ても行っております。

○他の商標権でも申立てを行った事例

登録商標 	商標のない模倣品 	追加申立て 
---	---	--

○意匠権で申立てを行った事例①

登録商標 	商標のない模倣品 	意匠権で新規申立て 
--	--	---

○意匠権で申立てを行った事例②

登録商標 	商標のない模倣品 	意匠権で新規申立て 
---	---	--

○特許権で申立てを行った事例

登録商標 	商標のない模倣品 	特許権で新規申立て 
---	---	--